



2019年5月11日(土) チーム神於山 活動報告

2019.05.14
シャープ社友会
チーム神於山
真砂 記

■活動日：2019年5月11日(土) 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 11名

■活動内容

- ・今回は、久しぶりに草刈りをメインに活動しました。
- ・当初は、記念樹ゾーンと暗渠ゾーンのミカン木の回りをきれいにすることが目標でしたが、やり始めるとやめられないのが草刈りで、多目的広場もスッキリさせることが出来ました。
- ・フクロウについては、2羽が孵化したことはお伝えしましたが、最終3個の卵が産まれていることが判りました。ただ、今は親鳥が孵化した2羽の雛の為に、餌を探しに出ることが多くなっていることから、3個目の卵が孵化するのは難しそうです。
- ・巢内の雛の写真を、フクロウのDNA調査を進められている大阪府立大学平井准教授に送ったところ、17日(金)10時半からDNAサンプル取りを行うことになりました。
- ・活動頂いた11名の皆さん、お疲れ様でした。

■ご報告

- ・午前の活動が終わってから、きしわだ環境フェア2019の出展内容と、トレイルカメラの購入について話し合いました。
- ・きしわだ環境フェアでは、フクロウのDNA調査結果発表について、平井准教授から了承の返事を頂いたことから新しい柱が出来た事。また昨年同様映像デモを行う為、デモソフトの作成を、北浦さん・金井さん・田平さんの3人を中心に進めて頂く事、等が話し合われました。
- ・トレイルカメラについては、会として2台目のカメラを、3万円前半を目途に、性能を重視して購入する事。また購入は、トレイルカメラ班の北浦さんと田平さんに一任する事が話し合われました。
- ・更に御手洗さんから、10日に開催された社友会の社会貢献活動委員会で、刈払機などの高額機材購入など、現行の年間15000円の活動支援金では賄えない事柄に対応できるように、別途予算措置が必要ではないかとの話が出たとの報告がありました。
今後ローテーションを組んで行う予定の保有機材のメンテナンスだけでも、相当な額が定期的に必要になりますから、会としてありがたいことです。

■草刈り三昧 before & after



■草の刈り方色々

長鎌あり、鉋あり、刈払機あり・・・

長 鎌



御手洗さん

鉋



森さん

刈払機



香遠さん 他

■ミカンの花の摘み取り

草刈り後、ミカンの木の花を全て摘み取りました。

- ミカンの全摘花は、木の生育を促すため、あと2年続ける必要があるようです。
- まだつぼみで、摘むのはかわいそうな気がしますが、それが木の為であれば已むを得ません。



ミカンの花。まだつぼみです。



■午前との部と午後の部の集合写真

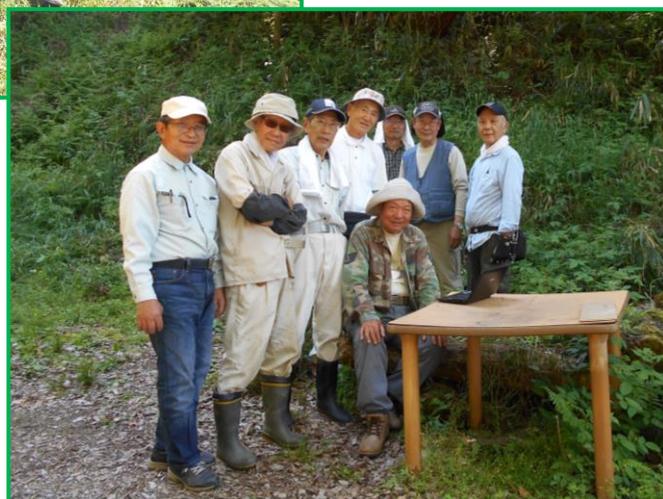
皆さん お疲れ様でした。



- 午前の活動を終えて、ミカンの木のゾーンで一枚。
- バックの看板回りもスッキリしています。



- 午後の活動を終え、録画した巣箱の雛鳥の様子を見ている時に、ちょっとカメラ目線で一枚。



■こんなことも



- (右) 午前の活動を終えた後の打ち合わせ時、岡森あんの指にとまった蝶 (多分ヒカゲチョウ)
- 打ち合わせに参加したがって来たのかも。



- (上) 前回の活動日に香遠さんが縦に二つに切ったドラム缶に通気の為の穴を開け、パーベキュー窯兼用の焼却炉を作りました。

以上